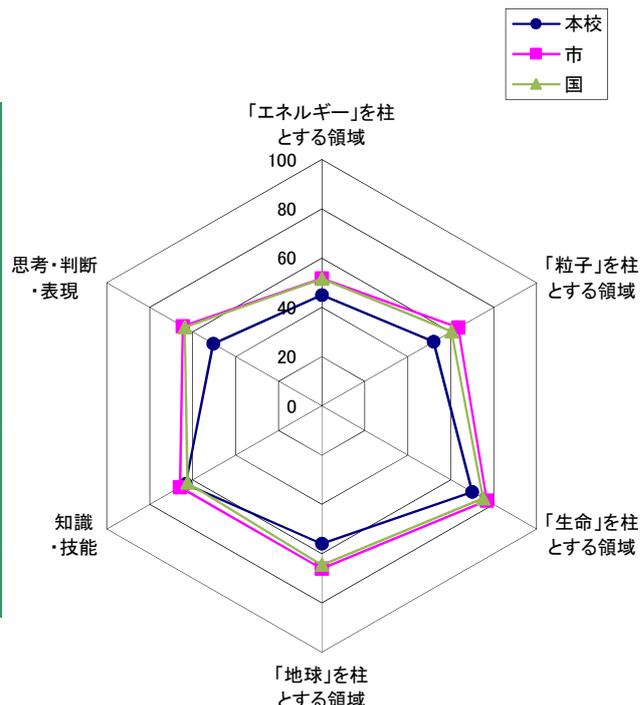


宇都宮市立清原北小学校第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	「エネルギー」を柱とする領域	45.0	51.7	51.6
	「粒子」を柱とする領域	52.0	63.5	60.4
	「生命」を柱とする領域	70.0	76.8	75.0
	「地球」を柱とする領域	56.0	66.1	64.6
観点	知識・技能	63.3	65.9	62.5
	思考・判断・表現	50.5	64.6	63.7
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
「エネルギー」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市より6.7ポイント、国より6.6ポイント低い。</p> <p>○日光は直進することを理解し、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ問題の正答率は、国の平均より7.2ポイント高い。</p> <p>●実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述で答える正答率は、国の平均より20.1ポイント低い。</p>	<p>・児童が得ている知識・技能を予想や考察と関連させて考えられるようにするため、自分の考えをノートに記述する機会を十分にとっていく。</p>
「粒子」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市より11.5ポイント、国より8.4ポイント低い。</p> <p>○メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けているかを選択式で答える正答率は、国の平均より5.0ポイント高い。</p> <p>●自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する問題の正答率は、国の平均より24.3ポイント低い。</p>	<p>・実験の際に、実験器具の使い方と名称をつなげて理解できるように実験の際に紹介し、再確認したり自分の考えをまとめる時間を十分にとったりするようにする。</p>
「生命」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市より6.8ポイント、国より5.0ポイント低い。</p> <p>○資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選ぶ問題の正答率は、国の平均より3.9ポイント高い。</p> <p>●多種多様な情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、記述する問題の正答率は、国の平均より22.5ポイント低い。</p>	<p>・授業や朝の学習の時間等で知識の定着を行い、事実をもとに自分の考えを書くことを指導していく。</p>
「地球」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市より10.1ポイント、国より8.6ポイント低い。</p> <p>○鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、水蒸気が変化したものであると短答式で答える問題の正答率は、国の平均より13.0ポイント高い。</p> <p>●夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ問題の正答率は、国の平均よりも19.5ポイント低い。</p>	<p>・日常生活の中で身に周りの自然事象に関連することを取り上げ、興味関心を高め、繰り返し学習することで知識・技能の習得を図る。</p>